

Annual Report of Innovation Center for Educational Resource

2012

九州大学附属図書館 付設教材開発センター年報 2012



教材開発センター年報 2012 目次

- 01 はじめに
- 02 メンバー
- 03 研究内容紹介
 - 04 藤村 直美 (芸術工学研究院 教授・総長特別補佐)
 - 06 岡田 義広 (教材開発センター 教授)
 - 08 吉田 素文 (医学研究院 教授・附属図書館副館長)
 - 10 井上 仁 (情報基盤研究開発センター 准教授)
- 13 部門紹介
 - 14 エデュケーショナルテクノロジー部門
 - 14 コンテンツデザイン部門
 - 14 オープンエデュケーショナルリソース部門
- 15 活動紹介
 - 16 イベント参加
 - 17 学会等の参加
- 19 プロジェクト紹介
 - 20 P&P (九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト)
「病院地区における3D教材の開発および開発・提供体制の構築」
- 23 講習会
- 25 資料
 - 26 教材開発センター組織
 - 26 組織図
 - 26 運営委員会
 - 27 撮影実績
 - 27 公開コンテンツリスト
- 31 出版物
 - 31 ICER Newsletter

はじめに



教材開発センター長 藤村直美

2011年4月のセンター設立当初は協力教員4名（教授2名、准教授2名）で始めましたが、2012年度は教材開発センターの開設2年目ということで、スタッフをかなり充実できました。そのうちの准教授1名が2013年1月から専任の教授になり、教材開発センターの仕事に専念してもらえるようになりました。またテクニカルスタッフも増えて、2012年度末では合計で5名になり、授業などの録画を中心としたビデオ班が2名、Webコンテンツや広報関係が2名、著作権処理関連が1名となり、業務を強力に推進できるようになりました。ただし、依然として、専用の建物はないので、箱崎の中央図書館、旧工学部本館、伊都の理系図書館と配置場所は3カ所に分散したままになっています。

スタッフの増強に合わせてコンテンツの整備も進み、コンテンツ整備があまり順調に進んでいなかったOCWの活動を促進できるようになっただけでなく、新たにiTunes UやYouTubeを活用して九州大学としてビデオ教材を世界に向けて公開する試みを始めることができました。2012年度に公開したコンテンツ数は、2012年3月31日現在で、九州大学iTunes Uを利用して公開している公開コレクションが34、公開コースが2あります。一方、YouTubeは、公開している講義動画が12、他にも、講習会・イベントなどの動画コンテンツを多数公開しています。こうした状況に合わせて広報にも力を入れ、ニュースレター（ICER Newsletter）の発行を2013年3月から始めました。これにより、ホットな話題や講習会の日程などをお知らせして行く予定にしています。

教材開発センターが独自に開発する教材についても専任教授になった岡田教授を中心に進んでいます。詳細は教材開発センターのWebページ (http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/howto_make) を見て頂きたいのですが、例えば、3次元CGを利用したインタラクティブ教材の開発では、3次元CG表現された詳細な人体モデルの表示と対話操作による視点の移動や拡大・縮小によって、学習者自らが理解したい情報にアクセスして学習することを可能にします。

新しい教材の開発に際しては、パソコン、スマートフォン、タブレット端末など、様々な機器を活用して、何時でも、何処でも、誰でも、興味を持って、自由に、積極的に、自分のペースで、効果的に学習できる教材を整備することを目指しています。教員が一方向的に説明するための教材ではなく、受講者も一緒に参加するインタラクティブな教材も開発する計画です。2013年度から始まる学生のPC必修化を視野に入れて、学修しやすい教材を制作、あるいは制作し易い環境の整備、教員の支援を行っていく所存です。皆様のご協力をお願いしたいと思います。

メンバー

Staff Members

2013年3月

センター長 Director

藤村 直美 (芸術工学研究院 教授・総長特別補佐)
Naomi Fujimura (Professor, Faculty of Design / Executive Adviser to the President)

教授 Professor

岡田 義広 (システム情報科学府担当教員)
Yoshihiro Okada (Professor, Graduate School of Information Science and Electrical Engineering)

協力教員 Collaborator

吉田 素文 (医学研究院 教授・附属図書館副館長)
Motofumi Yoshida (Professor, Faculty of Medical Sciences / Vice Director of Library)

井上 仁 (情報基盤研究開発センター 准教授)
Hitoshi Inoue (Associate Professor, Reserch Institute for Information Technology)

研究内容紹介

Annual Report of
Innovation Center for
Educational Resource

2012

藤村 直美

(芸術工学研究院 教授・総長特別補佐)

→ 所属学会名

ACM, IEEE, 情報処理学会, 電子情報通信学会, 芸術工学会, アジアデジタルアートアンドデザイン学会.

→ 主な研究テーマ

- ・ 共同利用センターにおける管理・運営に関する研究
キーワード: 情報処理センター, 管理・運用, ネットワーク, コンピュータ
- ・ コンピュータとインターネットを活用した教育
キーワード: 遠隔教育, e-Learning, VOD
- ・ 視覚障害者支援システムの開発と実用化
キーワード: 視覚障害者, ネットワーク

→ 研究業績

- ・ 学会発表等
 1. 伊東栄典, 笠原義晃, 藤村直美, 全学認証サーバの負荷状況と負荷分散, 情報処理学会IOT研究会, 1-6, 2012.05.
 2. 笠原喜晃, 伊東栄典, 堀良彰, 藤村直美, Gmailが大学メールサーバに与える負荷状況の分析, 情報処理学会IOT研究会, Vol.2012-IOT-19 No.5 1-6, 2012.09.
 3. Takashi Yamanoue, Naomi Fujimura, Hideo Masuda, and Motonori Nakamura, An Introduction to The Special Interest Group on Internet and Operation Technology (SIG-IOT) of Information Processing Society of Japan, ACM SIGUCCS Fall conference, 149-152, 2012.10.
 4. Naomi Fujimura, Tadatsugu Togawa, Yoshiaki Kasahara, and Eisuke Ito, Introduction and Experience with the Primary Mail Services Based on their Names for Students, ACM SIGUCCS Fall conference, 11-14, 2012.10.
 5. 藤村 直美, 安徳 恭彰, テキストファイルを元にした自動認識脚本ビューワーの開発, 芸術工学会誌, No.60, 68-69, 2012.12.
 6. Yasuaki Antoku and Naomi Fujimura, Implementation of the Text based Animation tool for Stage Scenario, Proceedings of the 10th Annual Conference of Asia

📄 研究内容

- ・ インターネットとコンピュータを活用した教育と技術移転
- ・ 共同利用のコンピュータセンターにおける管理・運用支援
- ・ 視覚障害者支援システムの構築

Digital Art and Design Association & the 6th International Conference of Taiwan Association of Digital Media Design, 374-376, 2012.12.

➔ 研究資金

- ・ 科学研究費補助金
 1. 2010年度～, 基盤研究 (C), 分担, 学習支援システムの履歴情報による教育改善のための客観的評価手法.
- ・ 学内資金・基金
 1. 2012年度～, 九州大学基金, 代表, 教材・ソフトウェア等開発, コンテンツ整備等支援.

➔ 教育活動

- ・ 教育活動概要

教材の電子化, 出席情報の電子的な収集と提示, オンライン試験システムの導入など, OCW, WebCT
- ・ 担当授業科目
 1. 2012年度・前期, 芸術工学基礎演習.
 2. 2012年度・前期, 芸術情報プロジェクト演習.
 3. 2012年度・前期, コアセミナー.
 4. 2012年度・前期, 情報処理演習V.
 5. 2012年度・前期, ネットワークサービ斯特論.
 6. 2012年度・後期, ネットワークサービスデザイン.

➔ 大学運営

- ・ 学内運営に関わる各種委員・役職等
 1. 2010.10～, 統長特別補佐.
 2. 2010.10～, 情報統括本部長.
 3. 2012.04～2014.03, 芸術情報設計学科長.
 4. 2009.06～2013.03, 教室系技術職員研修委員会委員長.
 5. 2010.10～2012.10, 事務情報環境専門委員会副委員長.
 6. 2010.10～2012.09, 全学情報環境利用委員会委員長.

岡田 義広

(教材開発センター教授)

→ 所属学会名

米国電気電子工学会 (IEEE) , 米国計算機学会 (ACM) , 電子情報通信学会, 情報処理学会.

→ 主な研究テーマ

・ 3次元グラフィックス応用ソフトウェアに関する研究

キーワード:ソフトウェア部品化, 分散システム, ヒューマンインタフェース, コンピュータアニメーション

→ 研究業績

・ 原著論文

1. Yoshihiro OKADA, Network Data Visualization Using Parallel Coordinates Version of Time-tunnel with 2Dto2D Visualizaion for Intrusion Detection, (WAINA 2013) IEEE 27th Int. Conf. on Advanced Information Networking and Applications Workshops, 1088-1093, 2013.03.
2. Umair Azfar Khan, Yoshihiro OKADA, Evolving story and character generation for role-playing games, Proc. of the workshop at SIGGRAPH ASIA 2012, 59-64, 2012.11.
3. Yoshihiro OKADA, Takayuki Ogata, hiroyuki matsuguma, Component-based approach for prototyping of movie-based physical therapy games, Proc. of the workshop at SIGGRAPH ASIA 2012, 39-45, 2012.11.
4. Ryuya Akase, Hiroaki Nishino, Tsuneo Kagawa, Kouichi Utsumiya, Yoshihiro OKADA, An Avatar Motion Generation Method Based on Inverse Kinematics and Interactive Evolutionary Computation, Proc. of the 4th Int. Workshop on Virtual Environment and Network Oriented Applications (VENOA-2012) of CISIS-2012, 741-746, 2012.07.
5. Yuta Kosuki, Yoshihiro OKADA, 3D Visual Component Based Development System for Medical Training Systems Supporting Haptic Devices and Their Collaborative Environments, Proc. of the 4th Int. Workshop on Virtual Environment and Network Oriented Applications (VENOA-2012) of CISIS-2012, 687-692, 2012.07.
6. Seiji Okajima, Yoshihiro OKADA, IEC-Based 3D Model Retrieval System, Proc. of the 5th Int. Conf. on Intelligent Interactive Multimedia Systems and Services (IIMSS 2012) Series: Smart Innovation, Systems and Technologies, 14, 317-327, 2012.05.

📄 研究内容

「3次元グラフィックス応用ソフトウェアに関する研究」

ソフトウェア部品の再利用性を高め、アプリケーションソフトウェアの開発コストを下げるためには、どのようなコンポーネントをどのようなフレームワークで結びつけばよいかというソフトウェアアーキテクチャーの研究を行っています。特に3次元CGアプリケーション開発支援のためのソフトウェアアーキテクチャーの研究を行っています。また、専門の知識のない人にも使える人にやさしいインタフェースをもつ計算機をつくりたいと考えています。ソフトウェアアーキテクチャーの側面から研究・開発を行っています。さらに、インターネットの普及により、時間や場所に制限されることなく、種々の情報を容易にやり取りできるようになりました。計算機により支援される種々の知的作業を複数の人で協調して行える環境をつくりたいと考えています。ソフトウェアアーキテクチャーの側面から研究・開発を行っています。

最近では、ビデオゲームの開発支援環境やデジタルTVのデータ放送コンテンツ開発、教育用コンテンツ開発、および博物館におけるデータ提示技術に関する研究開発を行っています。

・ 学会発表

1. 金子晃介, 岡田義広, ゲームAIのための日本語テキストからの感情オントロジーの構築, 日本デジタルゲーム学会2012年度年次大会, 2013.03.
2. 赤瀬龍也, 岡田義広, リアルタイムストラテジーゲーム: Halloween Crusaders, 日本デジタルゲーム学会2012年度年次大会, 2013.03.
3. 吉本誠也, 高野茂, 岡田義広, 複数Kinectボーン情報を組み合わせた高精度モーションキャプチャシステムの構築, 第75回情報処理学会全国大会, 2013.03.
4. 楯岡聖也, 高野茂, 岡田義広, 個人の音声特徴を適応的に抽出するリフティングウェーブレットフィルタの設計, 第75回情報処理学会全国大会, 2013.03.

➔ 研究資金

・ 科学研究費補助金

1. 2011年度～2013年度, 基盤研究 (C), 代表, 具象化に基づく3次元CGコンテンツの自動生成と対話型進化計算を用いた最適化の研究.
2. 2010年度～2012年度, 一般研究 (B), 分担, 初修外国語による携帯電話用表現モジュールの開発研究.
3. 2009年度～2012年度, 基盤研究 (B), 分担, 主体的鑑賞と評価還元を可能にする「パーソナルミュージアムコンシェルジュ」の開発.

・ 共同研究、受託研究

1. 2011.04～2012.03, 受託研究, 福岡IST, 分担, 放送通信融合時代の次世代共通社会情報基盤構築.

・ 学内資金・基金

1. 2012年度～2013年度, 九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト, 分担, リハビリ支援ゲームの開発評価拠点構築のための先行研究.
2. 2012年度～2013年度, 九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト, 分担, 病院地区における3D教材の開発および開発・提供体制の構築.

➔ 教育活動

- ・ 担当授業科目
- ・ 大学院システム情報科学府: 「3次元コンピュータグラフィックス論」
- ・ 理学部物理学情報理学コース: 「マルチメディア情報処理」, 「画像解析」
- ・ 理学部: 「博物館情報・メディア論」(分担)
- ・ 全学教育[G30]: 「Basic of Information Processing」

吉田 素文

(医学研究院 教授・附属図書館副館長)

→ 所属学会名

日本外科学会, 日本医学教育学会.

→ 主な研究テーマ

- ・ 模擬患者の養成法
キーワード: 模擬患者, 養成
- ・ 臨床実習前あるいは臨床実習後、卒後研修におけるOSCEの開発と評価
キーワード: OSCE, 臨床実習前, 臨床実習後, 卒後研修
- ・ 臨床実習中の医学生の医療面接体験と効果的な学習法に関する研究
キーワード: 臨床実習, 医療面接, 医学生
- ・ 効果的な二次救命処置のカリキュラム、およびその指導法や講習会の運営法に関する研究
キーワード: 二次救命処置, カリキュラム
- ・ 入院体験実習の評価
キーワード: 入院体験, 態度教育

→ 研究業績

- ・ 学会発表
 1. 吉田素文, 関屋真衣子, 中越さなえ, 佐藤千穂, 今泉亜希子「他人の著作物を含むeラーニング教材の作成における課題と対策-取組開始9年目の経過報告-」第44回日本医学教育学会大会, 2012.07.
 2. 吉田素文「電子教材作成支援は図書館情報学の範疇か?~他人の著作物を含む電子教材の作成支援における大学図書館の役割~」第60回日本図書館情報学会研究大会, 2012.11.
- ・ シンポジウム
 1. 「九州大学の模擬患者養成15年のあゆみ」九州大学登録模擬患者15周年記念シンポジウム, 2012.08.
- ・ 特別講演
 1. 「九州大学医学部医学科カリキュラムの改定について」, 熊本大学医学部FD, 2012.08
 2. 「臨床実習の改善および学習成果基盤型教育について」, 第21回 産業医科大学 医学部教員研修会, 2012.08.
 3. 「著作権を知らうー電子・オンライン教材における論文や教科書の複製物等の利用について-」, 第104回日本医学物理学会学術大会, 若手教育(若葉マークの研究・教育講座), 2012.09
 4. 「評価方法について」, 2012年度共用試験医学系OSCE外部評価者認定講習会, 2012.09.
 5. 「がんプロ全国e-learningクラウドにおける著作権:論文や教科書の複製物の利用に関するワークショップ」, 2012.07.

📄 研究内容

・研究活動分野:

基本的臨床技能の教育に関する研究、客観的臨床能力試験 (Objective Structured Clinical Examination; OSCE) に関する研究、医療面接の教育に関する研究、模擬患者の養成に関する研究、二次救命処置の教育に関する研究、二次救命処置の指導法に関する研究、二次救命処置講習会の運営法に関する研究、医療系統合教育に関する研究、多職種連携教育に関する研究、医療系教育へのWBT (Web Based Training) の応用に関する研究、情報専門職の教育に関する研究

6. 「医療系教育におけるeラーニングと電子教材:その有用性および課題と対策」, 2012.10.
7. 「高等教育の電子教材における他人の著作物の利用と問題点」, 連続講演会「ライブラリーサイエンスの現在」第14回講演会, 2013.01.
8. 「高等教育の電子教材における他人の著作物の利用と問題点」, 琉球大学FD, 2013.06.
9. 「医学教育における評価」, 大阪医科大学FD, 2013.02.

・論文

1. 藤崎 和彦, 田川 まさみ, 西城 卓也, 井内 康輝, 錦織 宏, 渡邊 洋子, 大谷 尚, 守屋 利佳, 吉岡 俊正, 吉田 素文, 鈴木 康之「日本医学教育学会認定医学教育専門家資格制度創設への提言」
医学教育 43(3), 221-231, 2012.06.

➔ 教育活動

・担当授業科目

- 2012年度・前期, コアセミナー.
- 2012年度・前期, 医学入門.
- 2012年度・後期, 臨床医学基本実習.
- 2012年度・通年, 臨床医学実習「医療面接」.
- 2012年度・前期, 初年次総合科目「医学教育・研究発表技法」.
- 2012年度・前期, 統合教育科目「インフォームドコンセント」.
- 2012年度・後期, 統合教育科目「臨床倫理」.
- 2012年度・後期, 統合教育科目「チーム医療演習」
- 2012年度・前期, 総合医学「医療コミュニケーション入門III」.
- 2012年度・後期, 総合医学「臨床推論演習」.
- 2012年度・前期, LSS「学習科学」
- 2012年度・前期, LSS「コミュニケーション論」
- 2012年度・前期, LSS「コミュニケーション演習」

➔ 大学運営

・委員

- (全学) 教務委員会, 全学教育運営会議, 入学試験実施委員会, 入学者選抜研究委員会
- (医学科・生命科学科) 教務委員会, 入試委員会
- (医学系学府) 大学院委員会

・役職等

大学院医学研究院医学教育学部門医学教育学講座教授, 医療系統合教育研究センター業務主任, 附属図書館副館長, 附属図書館付設教材開発センター協力教員, 教育改革企画支援室員

井上 仁

(情報基盤研究開発センター 准教授)

→ 所属学会名

Association for the Advancement of Computing in Education, 情報処理学会, 人工知能学会, 日本教育工学会, 教育システム情報学会.

→ 主な研究テーマ

- ・ 情報通信技術を利用した教育支援のための研究と開発
キーワード: eラーニング, 教育の情報化
- ・ 昆虫学データベースの構築
キーワード: テキストデータベース

→ 研究業績

- ・ 原著論文
 1. Osamu Tadauchi, Ryuki Murao, Naoki Takahashi, Hitoshi Inoue, Fukashi Kamitomo, Construction of Asian Xylocopa Specimen Database BeeAXylo., Esakia, (53) : 17-19, 2013.03.
 2. Naoki Takahashi, Osamu Tadauchi, Hitoshi Inoue, Fukashi Kamito, Construction of Two Type Specimen Databases, TachikawaType and M.ChujoType., Esakia, (53) : 13-16, 2013.03.
- ・ 学会発表等
 1. Hitoshi Inoue, Takahiro Tagawa, Takahiro Sumiya, Comparative Analysis of Different Lectures Using Item Response Theory for Instructional Improvement, Proceedings of IADIS International Conference e-Society, 2013, 505-507, 2013.03.
 2. Takahiro Tagawa, Osamu Yamakawa, Koichi Yasutake, Takahiro Sumiya, Hitoshi Inoue, Network Visualization of Connection inside Social Network Service for the Evaluation and Assessment of the Learning Community, The 24th annual conference of the Society for Information Technology and Teacher Education, 1054-1059, 2013.03.
 3. 田中要江, 井上仁, シラバスシステムからのキーワード抽出による図書館蔵書検索システム

📄 研究内容

・ 情報通信技術を利用した教育学習支援のための研究と開発

近年、eラーニングを始めとする情報通信技術を利用した教育が組織的に実施されている。その成功のためには、教育の実施部局と学内の教育に関わる組織との連携と協力が必要である。そこで、教育工学の立場から、教育・学習を支援するための研究と開発を行なっている。具体的には、教材作成支援環境、ログ情報の分析に基づく知的利用支援環境、教育用計算機の知的運用管理、アクティブラーニングのための学習空間に関する研究と開発を行なっている。

・ 昆虫学データベースの構築

文献の蓄積・検索、論文の作成、自然言語の解析等、研究者の日常的な活動を支援する目的で、旧大型計算機センターで公開していたテキストデータベース管理システム「SIGMA」の開発に携わってきた。このSIGMA上の公用データベースとして、昆虫学データベースがある。より使いやすいユーザインタフェースの要求や、インターネットの普及に伴い、当センター以外からもデータベースを利用したいという要求が高まってきた。このような背景から、SIGMAの検索機能をWebサーバに組み込んだ昆虫学データベースシステムを開発し公開しており (<http://konchudb.agr.agr.kyushu-u.ac.jp/>)、その検索機能等の研究開発を行なっている。

との連携, 情報処理学会第12回教育学習支援情報システム研究会, Vol.2012-CLE-9 No.7, 2013.02.

4. 岩永絵美, 井上仁, 高等学校の教員の教材共有に対する意識調査, 日本教育工学会研究報告集 [eポートフォリオの活用と普及/一般] JSET12-5, 91-96, 2012.12.
5. 山川修, 安武公一, 多川孝央, 隅谷孝洋, 井上仁, CLEを利用した学習の可視化と分析に関する提案, 情報処理学会第12回教育学習支援情報システム研究会, Vol.2012-CLE-8 No.11, 2012.11.
6. 多川孝央, 井上仁, 安武公一, 山川修, 隅谷孝洋, ソーシャル・キャピタルの尺度を適用した学習コミュニティ分析手法について, 情報処理学会第12回教育学習支援情報システム研究会, Vol.2012-CLE-8 No.10, 2012.11.

➔ 研究資金

・ 科学研究費補助金

1. 2012年度～2014年度, 基盤研究 (C), 分担, 学習に寄与するLMSログ可視化の研究.
2. 2011年度～2013年度, 基盤研究 (C), 分担, 学習コミュニティのソーシャル・キャピタルに関する実証的研究.
3. 2010年度～2012年度, 基盤研究 (C), 代表, 学習支援システムの履歴情報による教育改善のための客観的評価手法.
4. 2010年度～2013年度, 基盤研究 (B), 連携, 学習コミュニティ形成のダイナミクスと学習効果の実証的研究.

・ 学内資金・基金

1. 2011年度～2012年度, 教育の質向上支援プログラム (EEP), 分担, ICTによる自律的学習・教育体制の構築.

教育活動

・ 教育活動概要

1. 2011年度～, 統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻「情報システム論」
2. 2011年度～2012年度, 統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻「情報リテラシー論」
3. 2011年度～2012年度, 統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻「情報リテラシー演習」

・ 担当授業科目

1. 2012年度・後期, 情報リテラシー演習.
2. 2012年度・後期, 情報リテラシー論.
3. 2012年度・後期, ライブラリーサイエンス PTL I.
4. 2012年度・前期, 情報システム論.
5. 2012年度・通年, 特別研究Ⅱ.
6. 2012年度・通年, 特別研究Ⅰ.

大学運営

・ 学内運営に関わる各種委員・役職等

1. 2010.04～, 情報統括本部 教育支援事業室 室長

部門紹介

Annual Report of
Innovation Center for
Educational Resource

2012



Educational Technology

エデュケーショナルテクノロジー部門

- ・インストラクショナルデザインに基づいた教材、
教育方法の開発・適用
- ・協調型・学生主導型学習の推進
- ・自律的な学習と実践力を育成する
教育技術の普及と促進



Contents Design

コンテンツデザイン部門

- ・双方向型3次元マルチメディアや
ゲーム性を活用した携帯端末やデジタル放送等の
新技術に対応する教材コンテンツの開発
- ・学習意欲を高めるコンテンツの作成技法や
作成効率を高めるツールの提供



Open Educational Resources

オープンエデュケーショナルリソース部門

- ・OCW、YouTubeなどを活用したオンデマンド学習の推進
- ・教育コンテンツを再利用するための著作権処理システム
- ・SNS (Social Networking Service) の活用
- ・教材の公開を通じた学内外で
知の公共化と学びの共同体の醸成

活動紹介

Annual Report of
Innovation Center for
Educational Resource

2012



イベント参加

参加日時: 2012年5月26日(土)

参加場所: 東京 Apple Store Ginza

内 容: MEDISHAREキックオフ～ITによる学生からの医療改革～セミナー参加

参 加 者: 医学部学生1名(上松正和)

参加日時: 2012年7月4日(水)～6日(金)

参加場所: 東京ビックサイト

内 容: 第16回国際電子出版EXPO、第19回東京国際ブックフェア参加

参 加 者: テクニカルスタッフ1名(栢原幸恵)

参加日時: 2012年8月30日(木)

参加場所: 秋葉原UDX GALLERY

内 容: 「Bb Forum 2012 Tokyo」参加

参 加 者: 教員1名(藤村直美)

参加日時: 2012年9月21日(金)

参加場所: 東京都品川INTビル2F

内 容: 「Handbook紹介セミナー」参加

参 加 者: 教員1名(藤村直美)

参加日時: 2012年10月26日(金)

参加場所: インフォテリア株式会社 東京本社 2Fセミナールーム

内 容: 「Handbook活用トレーニング」参加

参 加 者: 教員1名(藤村直美)



学会等の参加

参加日時: 2012年7月13日(金)

参加場所: 筑波大学東京キャンパス文京校舎

内 容: 「がんプロ全国e-learningクラウドにおける著作権: 論文や教科書の複製物の利用に関するワークショップ」参加

参 加 者: 教員1名(吉田素文)

参加日時: 2012年7月27日(金)~28日(土)

参加場所: 慶應義塾大学

内 容: 第44回日本医学教育学会大会参加

参 加 者: 教員1名(吉田素文)

参加日時: 2012年9月15日(土)

参加場所: つくば国際会議場

内 容: 第104回日本医学物理学会学術大会参加

参 加 者: 教員1名(吉田素文)

参加日時: 2012年9月27日(木)

参加場所: 九州工業大学

内 容: 教育著作権セミナー参加

参 加 者: テクニカルスタッフ 3名(栃原幸恵、河野由起子、梶谷理恵)
事務補佐員1名(牛島由美子)

参加日時: 2012年10月27日(土)

参加場所: 早稲田大学西早稲田キャンパス

内 容: 校教科「情報」シンポジウム2012秋参加

参 加 者: 教員1名(藤村直美)

参加日時: 2012年10月31日(水)

参加場所: 鹿児島大学

内 容: 「医療系教育におけるeラーニングと電子教材: その有用性および課題と対策」参加

参 加 者: 教員1名(吉田素文)



学会等の参加

参加日時: 2012年11月22日(木)

参加場所: 京都大学学術情報メディアセンター

内 容: JOCW幹事会参加

参 加 者: 教員1名(藤村直美)

参加日時: 2012年12月11日(火)

参加場所: 熊本大学黒髪北キャンパス 「くすの木会館レセプションルーム」

内 容: 「eラーニング活用実践事例セミナー」参加

参 加 者: 教員1名(岡田義広)

参加日時: 2013年1月11日(金)～13日(日)

参加場所: 徳島大学 常三島キャンパス

内 容: 第7回医療系eラーニング全国交流会参加

参 加 者: 教員1名(吉田素文)

参加日時: 2013年1月21日(月)～22日(火)

参加場所: タイ ホテル ウィンザースイーツ バンコク

内 容: AROOC2012参加

参 加 者: 教員1名(井上仁)

参加日時: 2013年2月6日(水)

参加場所: 琉球大学

内 容: 「高等教育の電子教材における他人の著作物の利用と問題点」参加

参 加 者: 教員1名(吉田素文)

参加日時: 2013年2月22日(金)

参加場所: 九州大学中央図書館 新館4階 視聴覚ホール

内 容: 講演会「ディスカバリ・サービスの導入と新たな基盤整備」参加

参 加 者: テクニカルスタッフ1名(河野由起子)

参加日時: 2013年2月24日(日)～25日(月)

参加場所: JR博多シティ・9階大会議室3

内 容: MOOCsと電子図書館のための国際セミナー 参加

参 加 者: 教員2名(藤村直美、井上仁)

テクニカルスタッフ3名(栃原幸恵、河野由起子、田代岳人)

プロジェクト紹介

Annual Report of
Innovation Center for
Educational Resource

2012

P&P

(九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト)

平成24年度P&Pの「Cタイプ:教育研究システム改革プログラム支援」に、教材開発センターの研究課題「病院地区における3D教材の開発および開発・提供体制の構築」が採択されました。

研究代表者

吉田 素文 (医学研究院 教授・附属図書館副館長)

研究概要

大学の使命の一つである優秀な人材の輩出において、ICT 技術を高度に活用した新しいタイプの教材開発と、その教材を公開し開かれた学習の場を提供することにより、学内外の自律的な学習者による協調的な学習の推進を図ることはきわめて重要です。このため、平成 23 年 4 月に附属図書館付設教材開発センターが設置されました。実際の授業で利用できる教育効果の高い教材を開発するためには、授業の実施主体である教員と学生の協力が不可欠です。本申請研究の目的は、医学教育分野に対象を絞り、教員と学生の協力のもと 3DCG (3 次元コンピュータグラフィックス) 等を活用した電子教材の開発と教育実践を通して、教材の開発体制の構築と教材の提供体制の構築を図り全学規模の教材開発に先立つ電子教材開発のモデルケースを確立することです。具体的には、

- 1) 3D 教材の開発と教材開発体制の構築、
- 2) 教材の提供体制の構築、
- 3) 教材開発プロセスの確立、
- 4) 教育効果の検証方法の確立

をそれぞれ目指します。本申請研究の成果を他分野へ導入することにより、全学規模の教材開発を強力に推し進めることが可能となります。

活動報告

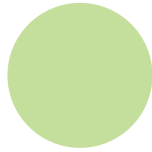
1. 2012年 6月25日
2012年 7月18日 P&P 3D医学教材開発および活用に関する説明会&意見交換会を開催
2. 2012年10月 1日 第1回 P&P 3D医学教材開発ミーティングを開催
3. 2012年11月 1日 第2回 //
4. 2012年12月20日 第3回 //
5. 2012年 1月10日 第4回 //
6. 2012年 1月23日 第5回 //
7. 2012年 2月 4日 第6回 //
8. 2012年 2月19日 骨学3D教材の学生モニター説明会



講 習 会

Annual Report of
Innovation Center for
Educational Resource

2012



電子教材開発者向け講習会

- 6月27日(水) 15:00~16:30 箱崎地区(経済学部本館4階410号室)
- 6月27日(水) 16:30~18:00 箱崎地区(経済学部本館4階410号室)
- 6月29日(金) 15:00~16:30 伊都地区(センター1号館6階1601講義室)
- 6月29日(金) 16:30~18:00 伊都地区(センター1号館6階1601講義室)
- 12月21日(金) 10:00~11:30 伊都地区(ウエスト4号館3階306号室)
- 12月21日(金) 15:00~16:30 箱崎地区(中央図書館3階第2情報サロン)
- 12月21日(金) 17:30~19:00 病院地区(総合研究棟講義室1階101号室)
- 12月25日(火) 10:00~11:30 伊都地区(ウエスト4号館3階305号室)
- 12月25日(火) 15:00~16:30 箱崎地区(情報基盤研究開発センター2階講義室)
- 12月25日(火) 17:30~19:00 病院地区(総合研究棟講義室1階101号室)
- 2月1日(金) 10:00~11:30 伊都地区(ウエスト4号館3階305号室)
- 2月1日(金) 15:00~16:30 箱崎地区(中央図書館3階第2情報サロン)
- 2月1日(金) 17:30~19:00 病院地区(総合研究棟講義室1階101号室)

電子教材 著作権講習会

- 9月24日(月) 15:00~16:00 箱崎地区(中央図書館 3F 情報サロン)
- 9月24日(月) 17:30~18:30 病院地区(医学図書館 2F 情報サロン)
- 12月14日(金) 10:30~12:00 伊都地区(伊都図書館 2F 情報サロン)
- 2月20日(水) 15:00~16:30 筑紫地区(総合研究棟(C-CUBE) 2F eラーニング室)
- 3月25日(月) 10:30~12:00 箱崎地区(情報基盤センター大橋分室2F 第3実習室)



講習会の背景と目的

教育者・学習者の習性 → 法的な側面 (著作権法、個人情報保護法)

教育内容(与教材) → 最新の研究、応用の成果、大学における研究をめぐる社会状況の変化、教育手法、学習環境の変化

理工・医療系の大学教員が作成する教材の特徴と根本的な問題

<input type="checkbox"/> 学術情報 <ul style="list-style-type: none"> ■ 最新で ■ 正確な 	相反	<input type="checkbox"/> 著作権法および出版社等著作権者が公表しているガイドライン等への配慮
<input type="checkbox"/> 伝える <ul style="list-style-type: none"> ■ わかり易く ■ 記憶に残るように 		<input type="checkbox"/> その他の配慮 <ul style="list-style-type: none"> ■ 時間、労力、経費 ■ 社会貢献、倫理性

KYUSHU UNIVERSITY 3

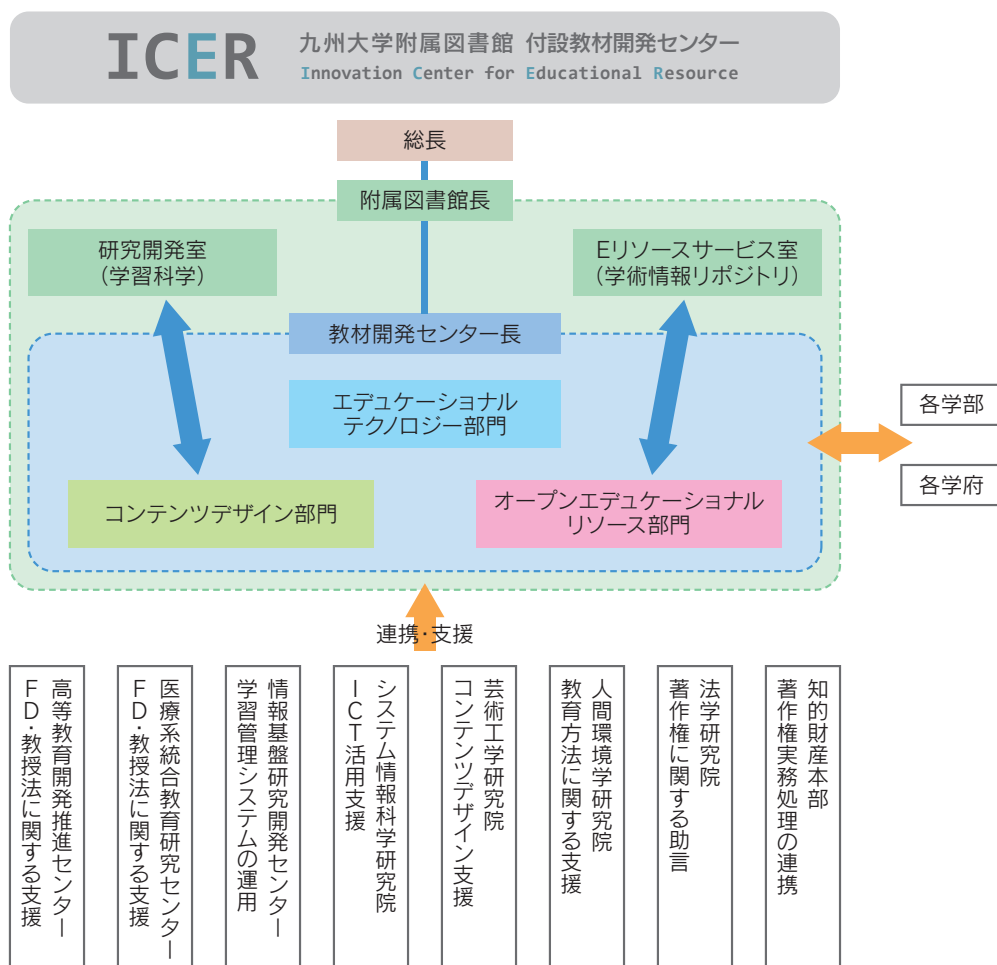
資料

Annual Report of
Innovation Center for
Educational Resource

2012

教材開発センター組織

▶ 組織図



教材開発センター運営委員

2012年4月

区分	所属・職	氏名
委員長	教材開発センター長	藤村 直美
委員	附属図書館長	川本 芳昭
〃	医学研究院教授 (協力教員)	吉田 素文
〃	システム情報科学研究院准教授 (協力教員)	岡田 義広
〃	情報基盤研究開発センター准教授 (協力教員)	井上 仁
〃	学務部長	江島 定人
〃	附属図書館・事務部長	益森 治巳

撮影実績

公開コンテンツリスト

2013年3月

	イベント	タイトル	講師	YouTube	iTunes U	OCW	
2012年度	講義	情報処理演習V	藤村直美 教授	○	○	○	
		情報システム論	井上仁 准教授	○	○	○	
		ネットワークサービス特論	藤村直美 教授	○	○	○	
		G30 Basic Of Information Processing	岡田義広 准教授	○	○	○	
		情報リテラシー論	井上仁 准教授	○	○	○	
		動物実験実施者等に対する教育訓練	小野悦郎 教授	●			
		Education and Training for Animal Experiments	小野悦郎 教授	●			
		生体応答制御学Ⅱ ヒトゲノム研究と医学生物学	服部正平 教授	●			
	集中講義	国際親善ディベート			○		
		技術経営・国際標準化戦略特論			●		
		Intensive Course on Policy Debate in English	井上奈良彦 教授、 Dr. Joseph Zompetti		○		
	おもしろサイエンス公開講義 九大100年まつり	地球にやさしいエネルギー	佐々木一成 教授	○			
	第59回電気科学技術奨励賞受賞受賞記念講演			首藤公昭 教授 (福岡大学)	○		
	市民公開講座 九大発! 最先端のサイエンス 九大100年まつり	スーパーコンピューターとシミュレーション科学 - 宇宙から原子分子まで -		青柳睦 教授	○	○	
スーパーコンピューターによる宇宙プラズマシミュレーション			深沢圭一郎 助教	○	○		

	イベント	タイトル	講師	YouTube	iTunes U	OCW
2012年度	「九州大学百年の宝物」 ギャラリートーク	細川文庫と支子文庫の 貴重書たち	辛島正雄 教授	○	○	
		古医書に見られる病と医術	ヴォルフガング・ ミヒエル 名誉教授	○	○	
		近世ヨーロッパに伝わった 東洋医学	ヴォルフガング・ ミヒエル 名誉教授	○	○	
	平成24年度第2回全学FD (教育の質向上支援プログラム(EEP)成果発表会)			●		
	21世紀プログラム・ 1年生コアセミナー	ビブリオバトル		○	○	
	農学部・ 1年生コアセミナー	ビブリオバトル		○	○	
	P&P 3D医学教材開発 および活用に関する説明会&意見交換会			●		
	電子教材開発者向け講習会			○	○	
	Power of Library～大学図書館のパワー～			○	○	
	メンタルヘルス研修会	海外渡航の際の注意点	高松里 准教授 西山浩司 助教	○		
	Social Business Forum Asia In Fukuoka 2012			○	○	
	ライブラリーサイエンス専攻 ーオープンキャンパスー	九州大学大学院 ライブラリーサイエンス専 攻の概要	渡邊由紀子 講師	○	○	○
		教材開発とそのオープン化 (模擬授業)	井上仁 准教授	○	○	○
	工学部電気情報工学科 オープンラボ	高周波集積回路・ マイクロ波通信デバイス 研究室 “超小型アンテナと 無線通信用LSI”	金谷晴一 准教授	○	○	
	理学部化学教室・ 前期特別談話会	生体膜リン脂質の不思議	谷元洋 准教授	○	○	
様々な触媒を用いた 新規反応の開発		富田廉 修士2年	○	○		

	イベント	タイトル	講師	YouTube	iTunes U	OCW
2012年度	放射線とは何だろうか？	リスクといかに向き合うべきか	甲斐倫明 教授(公立大学法人大分県立看護科学大学)	●		
	電子教材開発者向け講習会	Handbook	井上仁 准教授	○	○	○
		iBooks	岡田義広 准教授	○	○	○
	電子教材著作権講習会	電子・オンライン教材における論文や教科書の複製物等の利用について	吉田素文 教授	○		○
	ビブリオバトル 首都決戦2012 九州ブロック大会			○	○	
	第60回日本図書館情報学会研究大会プレイベント	クラウドと共有 "これからの研究者の文献管理"	ピクター・ヘニング氏	○	○	
	2012九大祭特別講義	先端加速器で宇宙の謎を探る —ヒッグス粒子(?)の発見を中心に—	川越清以 教授	○	○	
	「医中誌Web」利用説明会			●		
	理学府EEPによる講演	“Student discussion and participation in class: How to try it, and how to like it!”	S. R. Poulson 教授(Univ. Nevada-Reno)	●		
	電子教材開発者向け講習会		岡田義広 准教授	○	○	○
	外国語プレゼンテーションコンテスト		九州大学基幹教育院・九州大学大学院言語文化研究院	●	○	
	ディスカバリ・サービスの導入と新たな基盤整備			○		
	MOOCs と電子図書館のための国際セミナー	第1部:国際セミナー 「MOOCsと電子図書館の今後を考える」		○		
		第2部:大学図書館セミナー 「図書館の未来」		○		
	Leading Graduate Schools International Symposium			○		

	イベント	タイトル	講師	YouTube	iTunes U	OCW
2012年度	2012 International Friendship Debate			○	○	
	Japan-U.S. Exchange Debate 2012			○	○	
	国際日本語ディベート講座		井上奈良彦 教授、 蓮見二郎 准教授、 加地良光 氏	○	○	
	I ² CNER Seminar Series	(年間計19本)		○	○	
	I ² CNER東京シンポジウム Japan - US Collaboration on Energy			○		
	カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 (I ² CNER) 研究棟竣工式典			○	○	
	「ライブラリーサイエンスの 現在」 連続講演会	(年間計9本)		○	○	
最終講義	(計1名)		○	○		

●限定公開

▶九州大学附属図書館付設教材開発センターだより「ICER Newsletter」

2013年3月創刊



－ もくじ －

教材作成でお困りですか？

P&P 3D医学教材開発が進行中です！

Web学習システム活用事例

教材コンテンツを公開しています

ICER Newsketter創刊に寄せて

着任のご挨拶

Annual Report of Innovation Center for Educational Resource

2012

ICER 九州大学附属図書館
付設教材開発センター
Innovation Center for Educational Resource

編集発行 九州大学附属図書館付設教材開発センター

住 所 : 〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 TEL : 092-642-3983 E-mail : info@icer.kyushu-u.ac.jp
URL : <http://www.icer.kyushu-u.ac.jp>